

いま求められる

資金繰り支援の 基礎知識

Q & A

黒木正人 ファイナンススタイリスト
行政書士事務所長

不足問題も加わり、売上・利
響を与えている。そこに人手
の業績に大きなマイナスの影
響を与えている。そこに人手
輸人物価の高騰などが取引先
部品調達遅れ、円安による
プライチェーンの混乱による
高・資源高・原材料高をはじめ
め、世界的な半導体不足とサ
ライナ侵攻等に起因する原油
その一方で、ロシアのウク
ライナ侵攻等に起因する原油

一部は正常化が進んでいる。一
部の業種では厳しい状況が続
いているものの、総じて売上
はコロナ前の水準近くまで戻
りつつある。
現在は、経済・社会活動自
体は正常化が進んでいる。一
部の業種では厳しい状況が続
いているものの、総じて売上
はコロナ前の水準近くまで戻
りつつある。

Q1

なぜ取引先の資金繰りを
把握する必要性が
高くなっているの？



ここ数年の間、中小・零
細企業はコロナ禍での
経済活動停滞のみならず、社
会構造・行動様式までが激変
し、大きな危機に直面した。

益の確保ができず、資金繰り
に行き詰まり、倒産に至る企
業が増加し始めている。

管理が疎かだと
現預金が急激に減少

コロナ後における業況悪化
のサインとして、現金・預金
の急激な減少が挙げられる。
ゼロゼロ融資での資金調達に
より現預金残高が大きく増え
たものの、取引先の現預金は
現在二極化している。

それは、ゼロゼロ融資によ
り調達した資金を使い果たし
て極端に現預金が減少してい
る取引先と、予防的なゼロゼ
ロ融資の借入れで潤沢に現預
金がある取引先である。
前者は、現預金について資
金繰り表、月次の試算表や自

業況把握を踏まえた取引先支援のポイント

アフターコロナの 資金繰り改善提案

特集

ゼロゼロ融資の返済も本格化！

アフターコロナへの転換に伴い、多くの中小企業では売上が回
復基調にある。しかし、その一方で、ゼロゼロ融資の返済開始に
加え、資源高・原材料高や人手不足など新たな経営課題が発生。
資金繰りに窮する取引先も少なくない。本特集では、いま実践し
たい取引先への資金繰り改善提案のノウハウを解説する。

行庫の預金残高等をしっかりと
把握しなければならぬ。資
金繰り管理を疎かにしてい
ると、現預金の急激な減少を見
落とし、業況悪化のサインを
見抜くどころか倒産に至って
しまうからだ。

特に経営が厳しい業界や企
業は、ゼロゼロ融資の返済猶
予期間を3年程度に設定して
いたため、2023年7月か
ら2024年4月の間に返済
開始が集中する。返済が始ま
ることで、一気に資金繰りが
悪化することが考えられるた
め、いま取引先の資金繰りを
把握する必要性が高まってい
るのである。

POINT

- ▶ 資源高・原材料高に
人手不足が加わり、
倒産が増加傾向に
- ▶ ゼロゼロ融資の返済
が始まると、一気に
資金繰りの悪化も